

SDGsこども見守り隊

「"誰一人取り残さない"みんなが幸せになれるまちづくりを目指して」

に向けて「見守り力

ード」を作成し

こめて、子どもたちが地域の高齢者 することがないようにとの気持ちを **費者被害などによって悲しい思いを** す。そして、地域に住む高齢者が消 つことを子どもたちに伝えていま

などのご協力をいただきながら、 後も市民の皆さんや関係団体、 田小5年の授業で実施しました。 だいています。 は、昨年度は桐原小3年、桐原東小 食堂からスター り暮らし高齢者などに配布していた 委員・児童委員などを通じて、 ます。このカードは、各学区の民生 6年、安土小3年、老蘇小5年、 平成28年度に、桐原学区の子ど したこの取り組み ひと 金



消費者教育出前講座

消費者被害や特殊詐欺被害防止、お金の使い方など を楽しく学びます。ふれあいサロンや自治会、老人会、 子ども会、学童保育などのおおむね 10 人以上の団体を 対象とし、年間約40団体を訪れています。消費生活相 談員による最近の被害事例紹介や、登録講師「消費生 活サポーターはちサポ」による寸劇やクイズ、子ども たちにはすごろくを使うなど、老若男女を問わず楽し く学んでいただいています。土日祝日も実施できます ので、興味のある人はお気軽にお申し込みください。



合うことが欠かせない』、『**そのため**

るためには、地域のみんなが見守り

『地域のみんなが幸せに生活す

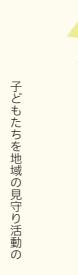
分たちの住む地域でも発生してい

にはみんなの力が必要です!』とい

これも消費者教育プロジェクト

市内小中学校の先生たちに協力をいただき、消費者 教育の視点で、学校での授業を改めて見直し、実践し ていただくためのワークショップを開催しました。

先生の実践をリーフレットにまとめ、市内の小中学 校の先生たちに配付し、消費者教育が学校教育の中で さらに推進されていくことを目指しています



住民、まちづくり協議会、



今、そして未来の幸せのために

消費者教育で未来を変える!

市では、消費者による誰にとっても優しい持続可能な社会を目指し、「近江八幡市消費者教育推進計画」を策定しました。 間 市消費生活センター TEL (36)5566・FAX (36)5553 今回は、この計画の取り組みの一部を紹介します。



消費者教育親子体験型プログラム 「SDGsこども特派員ワークショップ」

心にバナナペーパーやヨシ紙などの

紙」の生産に隠された秘密を解き、

子どもたちがつくった

めました。作成した動画は市公式 YouTubeチャンネルでご覧いただ い消費行動について学びました。ま 取り組める「地球」や「ヒト」 に優し ノログラムを通して、日常生活でも 全て県内産の材料を使用したランチ オリジナルノートを作り、さらに、 に隠された秘密も解き当てました。 特派員の子どもたちがプログラ

になったSDGsこども特派員が、 を親子で訪れました。一日新聞記者 **备産業、農業、菓子製造業の事業者** 平成2・30年度は市内の飲食店や

生産者の思いや願いを取材-

消費行動を見直すきっかけになり

した。平成31年度は、中学生を中

物など)による影響」「持続可能な 「日々の何気ない消費行動(買い

広報おうみはちまん 2020.5.1 広報おうみはちまん 2020.5.1 4